

横浜型小中一貫教育

荇田南中ブロック



荇田南中学校



荇田南小学校



荇田東第一小学校



つづきの丘小学校

平成24年度より、横浜市立小・中学校では、全142ブロックで「横浜型小中一貫教育」が全面スタートしました。「横浜型小中一貫教育」とは、敷地や校舎を共有するなどの物理的な条件に関係なく、小中学校教職員が情報交換や連携をして、義務教育9年間の連続性を図った小中一貫カリキュラムに基づく教育活動を推進することです。このことによって、子どもの学力の向上や児童生徒指導上の課題の解決を目指します。

荇田南中ブロック目標

全ての児童・生徒が安心して学び、豊かに生活できる9年間の創造

9年間で育てる子ども像

- 体験学習や集団生活の中で自分を見つめ、伸ばそう生かそうとする子ども
- 命の大切さや健康・安全の学習を進め、知識を生活に生かそうとする子ども
- 学ぶ意欲や喜びを大切に、課題に気づき、追求し、発表することができる子ども
- 学び合いの場を通して、自他の良さを認めあい、高めあう子ども
- 地域の人やものと主体的にかかわり、地域とともに活動する子ども

荇田南中ブロック 小中一貫教育の取組の一部

☆教職員の交流

4校協議会を開催し、各校の重点研究の年間計画や各校での職員研修を共有したり、人権研修をブロックで実施したりすることで、4校で課題意識を共有することができます。

他校の運動会や宿泊行事などの行事もブロック内で参観できる体制を組んでいます。



☆合同授業研究会

ブロック内の教職員が授業を参観した後、子ども観や授業観を共有しています。互いの授業を参観することで、小中の教育課程のつながりを意識し、ブロックの子どもの特徴をつかんだりすることができます。



☆児童生徒の交流

中学校1年生が、卒業した小学校のクラブ活動に参加し、高学年の児童と交流を深めています。また、各小学校の6年生が、中学校を見学するとともに、生徒会の生徒から説明を受け、中学校生活を学びます。



☆合唱交流会

各小学校の4年生が、中学校を訪問し、中学校1年生と合唱交流をしています。また、学区の荇田高校生徒が作成した交通安全指導の紙芝居を中学生が各校の4年生に向けて紹介し、ともに交通安全についての意識を高めています。

